

情報と
お知らせ

温もりを届けたい、手からこころへ.....
たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL0897-32-0302 FAX0897-32-0311

新居浜支部が神戸の文化施設を視察研修

新居浜支部では、市内の市民団体や文化団体と協働で、8月27日、神戸方面への視察研修を行ないました。

この研修には、2つの目的がありました。1つは、日本のお手玉の会が、神戸市で開催中のお手玉遊び指導者養成研修会の見学です。もう1つは現在、新居浜市が計画をすすめている芸術文化施設が、新居浜の顔として広く市民のための文化施設としての機能強化を果たすため、先進地である神戸の文化施設を視察し、情報収集することでした。

新居浜市の協力をいただき、新居浜支部の役員や市議会議員をはじめ市民団体の幹部など12人が、マイクロバスで出かけました。

まず、兵庫県立こども館(姫路市)を訪ねました。山間に建つ館は、安藤忠雄氏の設計によるもので自然と調和した建物と、子どもたちの夢を形にしたモニュメントが、館の内外に配置され、楽しい雰囲気演出されていました。館内の施設では、親子連れの家族が笑顔で利用していました。



兵庫県立こども館



こども館全体の説明を受ける

次に、神戸アートビレージ(神戸市)を見学しました。若手芸術家を育て、街の活性化を図るねらいの建物で、施設の運用についてのヒントを得ることができた。

つづいて、兵庫県民会館(神戸市)で開催中の日本のお手玉の会の指導者養成研修会を見学しました。ここでは、わらべ歌の研究者で神戸大学名誉教授の岩井正浩博士(神戸市)が、視察団に合流するというサプライズがありました。

岩井博士は、新居浜支部の顧問で、視察団の山本光博日本のお手玉の会理事(新居浜支部理事)の大学の先輩で、山本理事の呼びかけで参加されました。

岩井博士には、短い時間ではありましたが、急遽、研修会の中で「わらべ歌とお手玉遊びについて」お話をいただきました。

そのあとは、北野工房のまち(神戸市)を見学して帰路に着きました。あわただしいスケジュールでしたが、将来につながる、実り多い視察研修でした。

日本のお手玉の会開催の指導者養成研修会「兵庫県民会館にて」



神戸大学名誉教授 / 岩井正浩博士が見学
左 / 岩井先生 右 / 山本光博日本のお手玉の会理事



本部から指導者研修会を見学



神戸アートビレージ



神戸アートビレージセンター
館内施設見学

イベント・展示・音響
活用内容・人材・スタッフなど

★BROTHERS★NIIHAMA CAMP



日本初の兄弟王者

WBA 世界バンタム級王者
亀田興毅選手

元 WBA 世界フライ級王者
亀田大毅選手

ボクシングの亀田兄弟にお手玉プレゼント

ボクシングの世界バンダム級チャンピオンの亀田興毅選手と元フライ級チャンピオンの亀田大毅選手の兄弟が、10月28日から30日まで、新居浜市で合同キャンプを行ないました。

これは、12月7日、大阪市で行われるタイトル戦に望むためのものです。

二人は、スポンサーのニッコー(新居浜市)の招きで、昨年のお手玉の会新居浜太鼓祭りの見学に来たこと、ワールドカップで優勝したなでしこジャパンが、最終合宿地が新居浜だったことにあやかって、新居浜市をキャンプ地を選んだとのこと。

新居浜では、10月28日、イオン新居浜で東日本大震災の支援募金活動に参加しました。また、10月29日には、日本のお手玉の会が入居している銅夢にははまで、小学生を対象にしたスパーリング教室や、興毅選手の公開スパーリングが行なわれました。

新居浜市は、「お手玉のまち新居浜」をPRするため、両選手に日本のお手玉の会が提供したお手玉を、お土産として贈りました。二人とも、たいへん喜んでいました。